

名寄市まちなか再生・活性化プロジェクト「名寄まちなか未来宣言」のコンセプトについて

1 背景

- ・名寄市西3条南6丁目を核としたエリア（以下、「まちなか」という）は、これまで多くの人が行き交い、市民の暮らしを支えてきた名寄市の中心部。
- ・近年は人口減少に加え、社会環境やライフスタイルの変化などにより、まちなかを取り巻く状況は大きく変化。空き店舗数の増加や公共施設を含めた建物の老朽化など、まちなかの活力低下は大きな課題となっている。
- ・まちなかの活力低下や賑わいが失われると、**経済活動の停滞はもとより、人的交流や文化・社会活動の低下にも影響を及ぼすことが懸念**される。

2 ヒト・モノ・コト（まちの資源）

- ・一方でまちなかには、現在も公共交通や商店のほか、市民活動や地域コミュニティなどの多様な人や活動が集積していることは大きな強みである。
- ・また、本市には大学・高校があり、学生の存在も重要な要素となっている。若年世代がまちなかで活動することで新しい交流や経済活動の創出にも期待。
- ・まちなかには、**ヒト・モノ・コトを通じて名寄らしいライフスタイルを構築していくポテンシャルは現在でも残されている。**

3 まちなかに関する取組経過

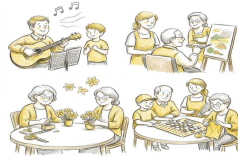
- ・老朽化が著しい図書館について、令和4年「名寄市公共施設等再配置計画」に則り、市民WGや庁内検討委員会を踏まえ、複合施設としてまちなかへの新規整備が決定していたが、中学校の建替・改修、東病院のまちなか移転の検討等があり、複合施設の整備年次にはずれが生じた。
- ・複合施設については、同計画（関連する計画を含む）の見直しや本プロジェクトの取組の中で、引き続き検討を行っていく。

4 まちなか再生・活性化プロジェクト

- ・これまで市民の皆様からいただいた意見（総合計画市民アンケートや再配置市民WG）や「名寄市まちなかグランドデザイン」を基にまちなかの将来像や方向性について、今後議論を深めるための素案。
- ・**この素案は完成した計画ではなく、新しいまちなかの未来を市民の皆様と一緒に考えていくための提案。**

取組方針の提案

- ①多文化・多世代交流の拠点づくり（若者のまちなか居住・コミュニティスペース）
- ②消費経済活性化による賑わい創出（チャレンジショップ・イベント開催・Yorocaの利活用）
- ③ウェルビーイングの実現⇒サークル活動・まちづくり有志団体の活動



※「名寄市まちなかグランドデザイン」

- ・まちづくり名寄がフォアキャストの視点に立ち、ヒト・モノ・コトを出発点として、名寄市の現状を踏まえた中でまちなかが将来に渡り持続的に機能し、「長期的な目標像」・「具体的な取組の道筋」を市民と共有する指針

市民一人ひとりの想いと行動がこのプロジェクトの最大の推進力。ヒト・モノ・コトを中心にできること（ソフト面）から始めていき、検証・改良を繰り返していくことで持続可能なまちづくりに取り組む！！